

第3回 仙台I ソンタクラブ 東北大学大学院 女子学生海外渡航支援事業 報告書

平成 26年 9月2日 記入

所属部局名：医工学研究科
学 年：修士1年
氏 名：塩谷真帆

1. 渡航先

アメリカ イリノイ州 シカゴ

2. 参加国際学会等の名称

36th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society

3. 開催期間

2014年8月26日～2014年8月30日

4. 旅行期間

2014年8月26日～2014年9月1日

5. 発表演題

A Preliminary Study on Evaluation of Circumduction Movement during Gait with Wireless Inertial Sensors.

6. 参加した国際学会等の状況並びに感想

今回の学会では、慣性センサを用いたぶんまわし運動の3次元的な計測法について、ポスター発表を行いました。慣性センサを用いて3次元的な動作を計測する、という研究は、他ではあまり見られないことから、様々な分野の研究者から多くの質問をいただきました。また、ディスカッションをしていく中で、多くの意見・アドバイスも受けることができ、今後研究を進めていくうえで有意義な経験を得ることができました。

また、他の研究者の口頭発表・ポスター発表を聴講し、意見交換することで、医工学分野の研究における広い知見を得ることができたと感じています。医工学分野における世界最大級の国際会議ということで、さまざまな分野の研究が集められており、自分の専門の研究以外の研究も

聞くことができ、大変勉強になりました。

7. 本事業に対する要望等

この事業は、学生に国際学会で実績を積むチャンスを与えてくれる、ありがたいものであると感じています。貴事業により、このような大規模な国際学会へと参加させていただくことで、研究者として大変有意義な時間を過ごすことができ、感謝しております。学会には日本人参加者も多數いたのですが、その中には女性はほとんどいなかったように思います。学会全体では男女比はほぼ均等であるように見えたことから、日本の学術界における女性進出はまだまだ少ないということを実感いたしました。今後、貴事業によって多くの学生が研究者としての実績を積むチャンスを得て、学術界における男女共同参画が進むことを希望いたします。

※ この報告書は、本事業の出資団体である「仙台Iソントクラブ」への事業成果報告として提出します。

※ この報告書は、本学男女共同参画委員会ホームページに掲載します。